

LEARNING INNOVATION AWARDS 2024



HOT LEARNING REPORT **03**

株式会社コイケ



株式会社コイケ

事業内容：包装資材卸、映像機器卸、輸出梱包、3PL、普通倉庫・保税倉庫
貿易事業、輸出入代行、貨物自動車運送、航空・海上運送取扱、不動産賃貸
従業員数：90名
本社：東京都品川区北品川1-1-17 第一小池ビル
企業サイト：<https://www.koike.co.jp/>

知識習得だけでなく 自己認識＋現場実践による管理職変革プログラム

- 1 管理職に求められる期待役割に対する意識醸成の実現
- 2 アセスメントを活用した適切な自己認識と学びをより深めるためのディスカッションの実施
- 3 「自己変革実践シート」を活用し、研修間の行動変容を促進



取り組み前後の変化

Before

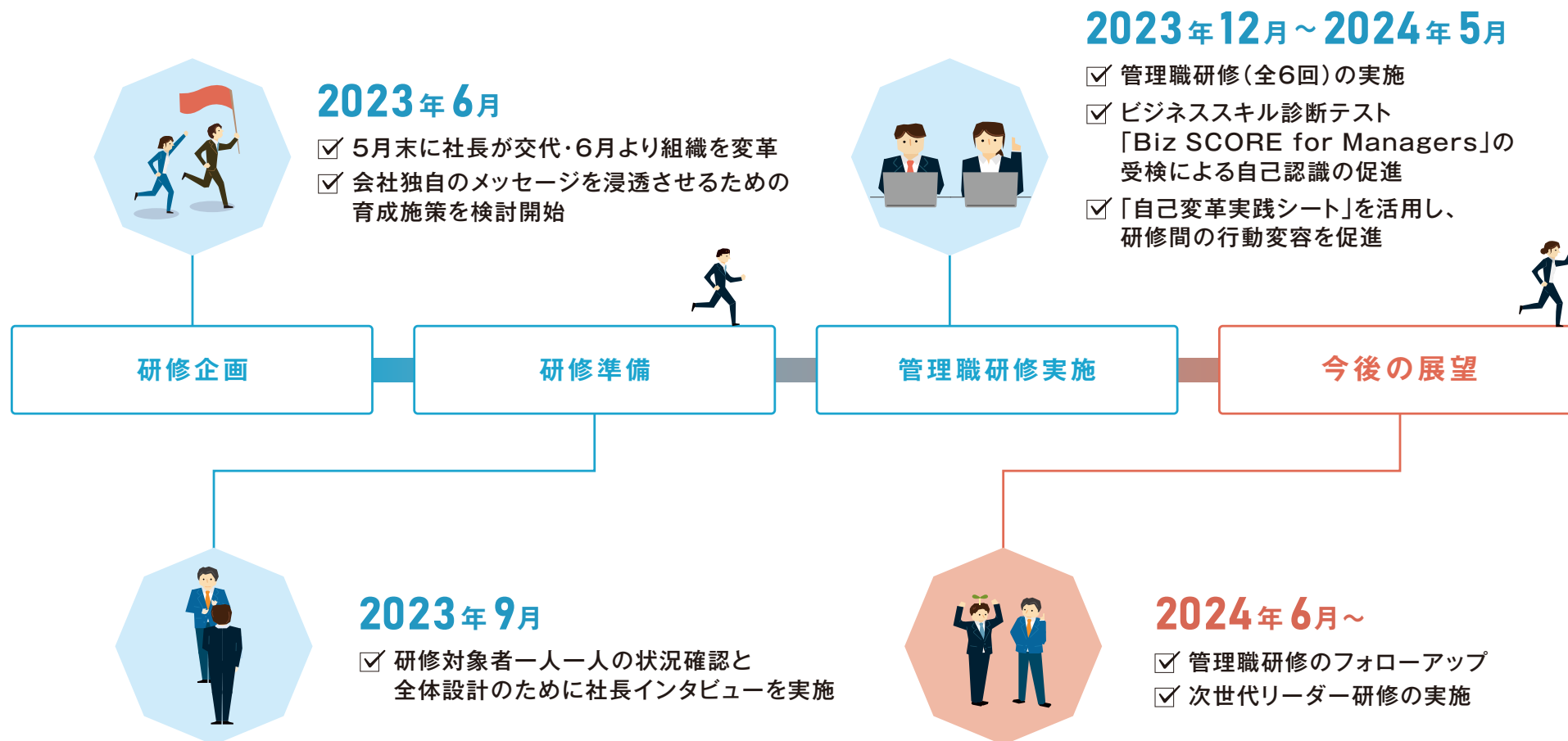
- これまでも管理職研修は行っていたが、インプット過多になり実践につなげるまで至らない、ということが見受けられた
- 体系的なマネジメント知識が不足していることで我流の育成・指導を行っている
- 管理職に求められる役割や行動、知識・スキルについての理解があいまいで、現場で実践できていない
- 部下やメンバーを育成するという意識が弱く、具体的に何をすれば良いかイメージが湧いていない



After

- 学ぶ必要性を理解し、管理職の学びへの姿勢が前向きになり、体系的なマネジメント知識を習得することができた
- 内省支援を行うためのフォーマットを受講者自ら作成し、毎週実行できる仕組みをつくるなど、行動の変化が見られた
- 自己変革実践シートの振り返りが甘いことに対する指摘を受講者間で実施できるようになった

取り組みのロードマップ



知識習得だけでなく 自己認識＋現場実践による管理職変革プログラム

取り組みの詳細 (実行内容の詳細)

部長・課長それぞれに対し全6回の研修を実施しています。管理職層の共通認識を作るために、部長・課長に同じ内容の研修を実施しています。また、2回目の事前課題としてアセスメントを実施することで、自身の強み・弱みを認識できる設計にしています。研修後には受講者が今後実践することを「自己変革実践シート」に記入し、次の研修で振り返りを行っています。

講師からも一人ひとりにアドバイスができるよう、各研修は5名前後の少人数で実施しています。



最終回では、社長へ自己変革の成果と今後取り組むことを発表し、管理職としての視座を高め、現場実践につなげられるプログラムを実施しています。

取り組みのポイント

一つ目のポイントは、「自己変革実践シート」を使用し、毎回の研修で振り返りを行っている点です。研修間での実践の質を高めるために、いつ・だれに・何を・どのくらいの時間/頻度で実践するのかなどを具体的に記載させることを心掛けました。そうすることで、自身が実践すべき行動のイメージを具体化させ、実務の中で意識・行動し続けられるようになることを目指しています。また、少人数の受講者に対して全て同じ講師に登壇いただくことで、一人ひとりの実践・変化を後押ししました。

二つ目のポイントは、受講者同士の対話の時間を研修内に多く設けることです。講師が一方的に話し続けるインプット形式の講義ではなく、ディスカッション形式のワークを多く取り入れることで、学びに対するハードルを低くし、前向きに研修へ参加できるように工夫しました。時に講師もグループワークに入ることで、議論を活性化させたり、質問による深掘り方法を体感できたりするようにしました。



代表取締役社長

小池 創様からのメッセージ

今回の取り組みは、会社の未来創りに向けた「スタート地点」だと考えています。似たお悩みの企業様が、共に前進する一助となれば幸いです。

担当コンサルタントコメント

管理職同士や講師と管理職の間で対話を重ねたことがポイントだと考えます。他社様からは、「うちの管理職は頑固で、変わってくれない」というお悩みをよく伺います。日々現場で悩む管理職だからこそ、「どんな組織を作りたいか?そのためには?」等の対話を土台とすることで、自身の課題に気づき、学ぶ好循環が実現できるのではないのでしょうか。